

岐阜県家庭教育学級実践事例

在宅取組型(小学校)

学校名等	神戸町立南平野小学校
実施日時	令和6年8月11日(日)~17日(土)
会場	各家庭
参加人数	1世帯の親子・家族
学習課題(分野)	家族の絆を確認し、深めよう! 「ハグ&GOOD ニュース週間」(家族の大切さ・思いやり)
運営者の願い	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の中で、普段の何気ない行動や当たり前のように感じるものが、「素敵なこと」「ありがたいこと」だと感じてもらいたい。 家族でハグやハイタッチをし合い、優しさやぬくもりを共に感じ合いたい。 特別なことではなく、毎日の中にある出来事をお互いに語り合いたい。
学習の内容	
<取組内容> <ul style="list-style-type: none"> 1日1回(以上)、家族と「ハグやハイタッチ」でふれあい、「GOOD ニュース」を語り合う。 「ハグまたはハイタッチができたか。」「GOOD ニュースを話せたか。」を家族で振り返り、取組カードに記録をする。 子どもや家族の「GOOD ニュース」の中から、特に印象に残ったものをカードに記入する。 取組後に、子ども・保護者、それぞれ感想を記入する。 取組カードを集め、記録を集計したり感想を整理したりして、子どもと保護者あてに、取組の成果をまとめた文書を発行する。 	
<取組の結果> <ul style="list-style-type: none"> 取り組んだ家庭 … 93.6% 「ハグやハイタッチ」の実施率 … 77.6% 「GOOD ニュース」の実施率 … 73.5% 	
<取組後の感想> <p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> まいにちすてきなきもちになりました。 元気になるからつづけたいです。 ハグはちょっとはずかしいのでハイタッチにしました。 「いつもありがとう。」というかんしゃの気持ちがつたえられました。 あまり言わないことをたくさん言えたり、家族の時間をふやせたのでよかったです。 話を聞いてくれてとてもうれしかったです。学校が始まって1日の出来事を話したいです。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> この期間中以外でもたくさんハイタッチができた。一緒に楽しめることが増えて幸せです。 GOOD ニュースを話すことで話が広がり、子どもと話す時間を持てました。忙しくても子どもの話を聞く時間をもてるとよいなと思いました。 父親や兄妹ともハグをするいい機会になりました。 当たり前のことが、ありがたいことで、何気ない日常の幸せに気づけたことがよかったです。 高学年になると口数が減ってしまいがちですが、この機会に子どもが思っていたことをたくさん聞けました。 	
<取組の成果> <ul style="list-style-type: none"> 普段から自然と行っているご家庭もあったが、これを機に取り組まれた家庭もあった。忙しい日常のなかで、今よりほんの少し多く、濃く家族が繋がる時間をもっと意識することで、それぞれの気づきがあった。家族を見つめ直すきっかけづくりをしてもらった。 	



家族の絆の深まり

「毎日、すてきな気持ちになった」「何気ない日常の中の幸せに気付けた」「家族の時間を増やすことができた」など、「ハグ&GOOD ニュース週間」に取り組んだことで、家族のふれあいや会話が増え、絆を深めることができた。

実践カード

